

2021年5月13日

各位

会社名 株式会社デジタルガレージ
 代表者名 代表取締役兼社長執行役員グループCEO 林 郁
 (コード番号: 4819 東証第一部)
 問合せ先 取締役兼専務執行役員
 コーポレートストラテジー本部管掌 曾田 誠
 (TEL: 03-6367-1111)
 (URL: <https://www.garage.co.jp/ja/ir/>)

2021年3月期通期連結業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2021年3月期(2020年4月1日~2021年3月31日)における通期連結業績につきまして、前期実績との差異が生じたので、下記の通り、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績と前期実績との差異

	収益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益
前期実績(A) (2020年3月期)	百万円 36,936	百万円 10,008	百万円 7,331	百万円 7,420
当期実績(B) (2021年3月期)	40,478	14,317	9,518	9,786
増減額(B-A)	3,542	4,309	2,188	2,365
増減率(%)	9.6%	43.1%	29.8%	31.9%

2. 前期実績との差異理由

上記の通り、2021年3月期通期連結業績は、収益は40,478百万円(前期比3,542百万円増、同9.6%増)、税引前利益は14,317百万円(前期比4,309百万円増、同43.1%増)、当期利益は9,518百万円(前期比2,188百万円増、同29.8%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益は9,786百万円(前期比2,365百万円増、同31.9%増)となりました。

ロングタームインキュベーション事業を中心に、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外食・娯楽関連等の消費自粛や事業者の休業等による収益減少の影響を受けたほか、マーケティングテクノロジー事業においては拠点集約等の事業構造最適化施策による費用が発生しました。一方、インキュベーションテクノロジー事業において、営業投資有価証券の公正価値が好調に増加し、フィナンシャルテクノロジー事業

においてはECの市場規模拡大に加え、主力事業が堅調に推移したことで、増収増益となりました。

2021年3月期通期連結業績の詳細につきましては、本日公表致しました、「2021年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」をご参照下さい。

以 上